

和泉観ボラだより 第19号 2019.3 発行



観光ガイドへのお問い合わせ先は下記にお願いします
〒594-0071 和泉市府中町 1-19-9 (和泉府中駅前)
和泉市いずみの国観光おもてなし処 気付「和泉観光ボランティアクラブ」
TEL : 0725-40-5552 FAX : 0725-40-5553



9市4町で『KIX泉州ツーリズムビューロー』設立 金児 和子

『2025大阪・関西万博』 『G20大阪サミット』 『ラグビーワールド杯2019』
『ワールドマスターズゲームズ2021関西』 世界的イベントで和泉観光をアピール！！

1970年の「EXPO '70」大阪万博を覚えておられますか？ 太陽の塔とともに、今は亡き三波春夫さんの「こんにち
は！こんにちは！」という歌声が聞こえてきそうですね。この度の2025大阪・関西万博のテーマは、「いのち輝く
未来社会のデザイン」(Designing Future Society for Our Lives)です。地球上の生きとし生けるものが、安全安心
に生きていける未来社会はどのようでしょうか。

さて、2016年開催の伊勢志摩サミットはG7でした。
今般、日本初のG20大阪サミット(2019年6月)では、20
カ国の首脳が咲洲にあるインテックス大阪において
2日間にわたり国際会議が開催されます。ちなみにG20
とはGroup of Twentyの略。代表団にはぜひ、関西空港
への経由地として泉州で日本を満喫して頂きましょう。

ラグビーワールドカップ2019(2019年9月～11月)は
出場チーム20か国、札幌から熊本までの全国12会場で
開かれます。大阪では、全国高校ラグビーのメッカであり
日本初のラグビー専門スタジアムである東大阪市花園
ラグビー場で開催されますが、今回は全48試合のうち
花園では4試合だけ。収容人数3万人と多少小さいから？



2025年5月～11月 夢洲で「EXPO2025」開催

来場予定者2800万人！ 出典：大阪府 HPより

ワールド・マスターズ・ゲームズ2021関西(2021年5月

14日～30日)は、概ね30歳以上のスポーツ愛好者であれば誰もが参加できる生涯スポーツの国際総合競技大会
です。35競技59種目あり目標参加者は5万人。関西各地で開催されます。

泉州地域では平成30年4月1日、それまでの『泉州観光プロモーション推進協議会』『KIX泉州国際マラソン実行委員会』『華やいで大阪・南泉州観光キャンペーン推進協議会』の3団体を統合して、泉州9市4町から成る『一般社団法人 KIX泉州ツーリズムビューロー』が設立されました。泉州全自治体9市4町の首長と関係数社で理事会を構成し、観光地の創生や観光モデルコースの提案を行うものです。検索語「大阪泉州観光ガイド」で一度サイトをご覧ください。さっと見た限り、残念ながらモデルコースに和泉市の観光スポットはそう多くは見受けられません。しかしよく見れば、必ず近隣自治体には無い、和泉市独自のオンリーワン観光スポットを見つけ出すヒントが得られるはず！ まだ知られていない素敵な観光スポットはどこ？ 観光客に喜ばれる、楽しい隠(かく)れ体験スポットとは？



前列中央は理事長の竹山修身堺市長
(写真 和泉市提供)

万博まであと6年しかありません。それまでにどれだけ魅力的な和泉の観光コースを提示できるか、新たな行事や観光地を創設できるか、またできることなら早いうちに周辺の自治体から注目されるような実績を積んでおけるかがカギだと思います。これらは一人の知恵ではできません。みんなからアイデアを頂きみんなの力でそれを深め実現させ、認知を得るまでに高めていくのです。

❤️ みなさん、観ボラクラブで一緒に楽しみながら和泉市を盛り上げませんか？ ❤️

「観ボラ初のデイサービスでの出前講座に挑戦」

森井 豊

「デイサービス半四郎」さんから出前講座の依頼がありました。依頼内容は“(劇)観光ボランティア”。時間は1時間。具体的には、和泉に伝わる昔話“貧女の一灯”を現代風にアレンジした好評の寸劇。お客様は要支援・要介護の方々が観ボラとしては初めての挑戦です。寸劇には自信があるのですが、それだけではもったいない。依頼者のリーダーと相談しました。歌を歌いながら楽しく過ごす案もありましたが、「観光」をテーマに我が町に触れる時間にしたい…と考えるおられることが判りました。

身の回りの日常から離れて、憧れや未知の非日常との出会いを「観光」と位置付けて、何気ない日常をご覧いただきながら、緩やかに非日常に展開していくシナリオにすれば楽しくゆったり過ごしてもらえるのではないか…と考えることにしました。

先ず日常の風景として「デイサービス半四郎」の利用者のお住まいまでの「送迎ルートの子窓風景」を撮影しました。久保惣記念美術館前で開催していたサーカスの動画撮影もしました。蓄積してきた「市制60周年事業で和泉府中駅前に集まったダンジリの出発動画」や諸々の手持ちの写真を使ってデイサービスバージョンのコンテンツの制作に入りました。

今までと違った視点で、「子供の頃・学生時代・成人して家庭を持った時期・子育て期・壮年の充実期・熟年期・そして今」の夫々の時代を懐かしく思い出していただくことに思いをはせて準備を続けました。本番当日…どんな反応をして下さったか…ご想像にお任せします。送迎ルートに「トカイナカ」の新発見。「デイサービス半四郎」近くに大名の陣屋があったこと…エッ知らなかった。等々、心地よい刺激を楽しんでいた初挑戦は終わりました。

【エピソード】…初挑戦に「どうすりゃ良いのっ」と考え続けている頃、若手の女性クラブ員…とは言ってもかなり昔のお嬢様からの嬉しい電話。「進みますか？」⇒「来週からリハーサルを始めます」⇒「じゃ～、予定をキャンセルして私も行きます」…で合流リハーサル。

いざと言う時の予備ネタも準備して下さって本番当日を迎えました。数日して半四郎のリーダーから、スタッフとおお客様の嬉しい感想が届きました。「知ってるつもの我が町に、知らなかったことが多かった！」との反応は毎回のことです。



熱演が感動を呼ぶ？寸劇

「ガイドデビュー奮戦記」

石崎 昌男

新人ガイドの石崎昌男と申します。

一昨年講習会を終え、去年1年間先輩諸氏からの指導を受けて、ガイドデビューをしました。

その時の感想を少し書かせていただきます。

- ① 説明資料はパンフレット・Web・図書館・各種講座などで勉強し、現地に何回も出向きました。そこでご住職や信徒の方々ともお話しさせて頂き、現地の特徴を見つけ、さらにガイドの先輩方にも教えて頂き完璧に(?!)勉強して行きました。
- ② 声が聞こえなくては意味がないと思い、美術館の案内等で利用される携帯用マイクを使いました。自身では皆様に聞こえていると思っておりましたが、後で思い返すと本当に聞こえていたのか心配になりました。
- ③ 多人数のお客様をガイドする時、説明に興味のある人、足の遅い人、ガイド説明より他の事に興味のある人等ではばらばらになりました。どうすれば説明効果があるのかと終了後に思い返しました。今後は、まず大声で集める、遅い人は待っておく、又はその方のそばに行く、他に興味のある人は自由にして頂くなどの方策を考えました。
- ④ 次に誰もしないことをしようと考えました。私は少し笛が吹けます。参拝されている時にバックグラウンドミュージックとして童謡を吹いてみました。少し腹話術も出来ますので腹話術人形を使って説明しました。しかし説明することばかりに注意がゆき、腹話術人形は持っていただけでした。それでも、お客様からは「かわいい！」と喜んで頂きました。次回から腹話術人形にも是非喋らせてみよう！！



信太森神社（葛の葉稲荷）にて

このような一風変わった、しかも楽しいガイドはいかがでしょうか！！

「新しい散策コースを求めて」

松浦 敦

私は現在のぞみ野に住んでいるが、この和泉市は北部地区を見に来る人が圧倒的に多いようだ。葛の葉町にある「葛葉稻荷神社」から「小栗街道」沿いの「笠かけの松」、そして「池上曾根史跡公園」辺りがいわゆる和泉市への来訪者の「ゴールデンコース」になっているらしい。みな和泉市の北部にあるため、私のように和泉中央駅近くに住む人間にとっては残念でならない。

というわけで、観ボラクラブ有志三人(みな和泉中央駅近辺に住む)で新しいコースを探す市内の旅に出た。13時半和泉中央駅をリュック姿で出発する。最初の目標地点、旧池田寺である明王院までは順調。和泉中央駅から線路沿いに北東へ道路を下り、国道480号線との交差点で左へ曲がり、少し行けば「明王院」だ。トイレがここにはないことを確認して480号線の歩道に戻り、次の目的地「高橋家」に向かう。「高橋家」は池田下村の庄屋さんを長年務められてきた家で、その古い萱葺の家屋は国の重要文化財に指定されているという。結局480号線を北東へひたすら歩くことになった。というのは三人のうち一人の調査では、この道の先のパチンコ屋さんのところを右に曲がった場所にあるとのこと。私は5年ほど前に一度行ったことがあるので、そんな遠くではないとは思ったが自信がない。

目印のパチンコ屋さんを見つけて右折し、この辺りと目途をつけたところへ行くがまったくそれらしきものがない。あちこち歩くと見当もつかず困っていると、畑で麦藁帽をかぶり農作業をしているお爺さんを見つけ、暫しの逡巡の後、思い切って尋ねてみた。予想通り「高橋家」はもっと手前にあったのだ。細い道を元の方向へ戻り何とか見つけることができた。この時すでに出発してから一時間半は過ぎていたと思う。やっと見つけた「高橋家」は門が閉ざされひと気はなく、隣の駐車場から、やっと萱葺の家屋が遠望できる程度であった。期待が外れた時のショックは常に大きいのだが、世の中こんなものかと気を取り直し次の目標地点へ向かう。

次は「目塚」だ。なんとこれで「さかんづか」と読む。東阪本町会館の広場にあった。発掘された塚をここに祀ったとの碑だ。そこを後にしばらく細い道を歩くと、旧坂本寺の禅寂寺がある。その隣は郷荘神社だ。昔の坂本寺はかなりの規模だったらしく、お寺の境内には当時の寺院を支えていた巨大な礎石が祀られていた。郷荘神社は平成25年に市の指定文化財になったという。

この旅、和泉中央駅に戻ったのは17時。すでにたそがれ時。時を惜しむかのように「サイゼリア」にとびこみワインの杯を重ねる三人。飲むほどに一日の成功や失敗が思い起こされより楽しくなった。私は「ルート探しも大変だなあ」と独りごちたのであった。(了)



禅寂寺(旧坂本寺)と貝塚いぶき



「目塚之碑」と説明板

「和泉市主催ウォーキングツアーをガイドして」

福田 栄子

10月28日(日)、産経新聞が和泉市の委託を受けてバスツアー・サイクリングツアー・ウォーキングツアーを開催しました。そのなかで私は、ウォーキングツアーのガイドサポートとして、多数の参加者に同行させて頂きました。天候に恵まれてさわやかな秋晴れの日、和泉の国歴史館～和泉市久保惣記念美術館～松尾寺のコースでしたが、無事に終えることが出来ました。道中紅葉には少し早い時期で、特に松尾寺の紅葉を参加者に見て頂けなかったのが残念でしたが、和泉の歴史の深さをガイド初体験を通して感じさせられました。

当初は、先輩ガイドの説明を聞き勉強しながらガイドサポートをと軽く考えておりましたが、参加の方々の安全確保、時間の配分など細々とした事への配慮等、ただガイドをするだけではない、サポートの重要性を考えさせられた一日でもありました。次回またこのような機会を頂けたら、反省点を生かしサポートしつつ、ガイドの勉強を重ねて行きたいと思っています。

後日分かったことがあります。松尾寺や周辺の紅葉は例年12月初旬からですが、松尾寺の三天堂の手前に例外的に紅葉が早い楓が一本あることを知りました。なんと9月中旬に色づき始め、他の多くの楓より約一か月半早く散るとのことでした。同様の楓が松尾寺のふもとの宝瓶院にもあることを知り、自然の面白さと和泉の歴史の深さを再認識させられたのでした。



松尾寺三天堂の紅葉2014. 9. 12撮影



宝瓶院 2014. 9. 20撮影

「<神戸繁栄自治会> 松尾寺ガイド記」

細川 陽徳

「私、生まれも育ちも葛飾柴又・・・」「わたくし和泉観光ボランティアクラブ、通称、大阪とらさんこと細川でございます」フーテンの寅さん口調！皆さんのビックリした表情が一変、にこやかな笑顔に変わった。

神戸からのバスツアーは女性33名、男性5名の構成。久保惣記念美術館経由で現地へ。

『実はね、美術館があまりにも楽しくて。時間オーバーしてごめんなさい』

「いえいえ、それは良かったですね。もっと楽しんで戴きますよ」

実は心の中ではかなり焦っておりました。全ての箇所のご案内は無理と判断し、手持ちの写真でご案内。

「886から9。この数字の意味、お判りですか？」

「和泉は約6000万年前は海の底でございました」

「海底が隆起して現在の地形になり、南の端の三国山が標高886メートル」

「北の端の葛葉町境界が標高9メートルと非常に急峻な地形になったのです」

「雨に洗われ自然発生的に川ができ地表をえぐり谷ができ、土を押し流し盛り上げ段丘ができ、楯の歯状の特異な地形が出来たのです」

「松尾寺は尾を引く丘陵の先に作られた寺。戦国時代守りに易く攻めるに難い地形の中に、飛鳥時代役行者により開かれたと伝えられる古寺。

平安中期の日本往生極楽記に紹介されています」

『ホッホー、神戸の地形に似てますな！』皆さんの表情が興味津々になったところで、「和尚が宝物を持ち逃げしたと云う話があるのです」

「織田信長が全山焼き討ちを行った際、81才の高齢にもかかわらずご本尊の如意輪観音像を始め、百十数点の寺の宝を堺の念仏寺に運び難を逃れたと云う話でございます」

皆さんの笑顔が一段と大きく広がり、過去ご案内したお客様の顔がフツ

思い出されました。鐘を撞(つ)き、「何か音が一段と大きかったようですが？」

『判った？』紅葉のようなこぼれる微笑みに、本当に楽しんで戴けたんだと思う、心ほのぼのとしたひと時でございました。

4月7日(日)は松尾寺桜まつり！

午前10時～16時 ご本尊ご開帳

午前10時 大般若経転読法要

午後1時 稚児お練り

午後2時 採灯大護摩供-火渡り



↑↓ 写真提供：松浦照様



「和泉観光ボランティアクラブ」について

会長 水智弘

「観光」という言葉を聞いて、皆さんはどんなイメージを持たれますか。

現在では、一口に観光と言ってもいろんな形態があり、また人によって目的も違います。観光という言葉が初めて使われたのは、何千年も前の中国の書物「易経(えききょう)」に書かれた「観国之光」<<国の光を(観)みる>>であると言われています。国中の優れた部分を(観)みて、(観)しめすことが、国を治める者の心得とされました。

日本において、一般の人でも自由に旅行できるようになったのは、交通機関が発達し、経済的にも余裕が出てきた1960年代以降のことです。安心して旅行するためには、国内或いは訪問先が平和でなければならず、心身の健康も必要です。それゆえ「観光は平和産業」とも言われるのでしょう。

近年、国を挙げて観光立国を目指しており、当市では、平成30年度までに市内主要観光施設の観光(来訪)客数を150万人にすることを目標に、市の魅力的な資源を最大限活かした歴史・文化・自然が存分に感じられる「和泉市観光振興戦略プラン」が策定されるなど、観光ボランティアクラブ(観ボラ)を取り巻く環境には大いなる追い風となっております。

当市は「京都・奈良のように名所旧跡が多くあり集客効果の高いものがある地」ではありませんが、緑豊かで温暖な気候の中、岩宿(旧石器)時代にまで遡れる歴史の豊かさ・奥深さは枚挙にいとまがありません。

私たちは、和泉市を訪れる方々に「おもてなしの心」で接し、和泉市の魅力の一つでもお心にお留め戴き、リピーターになって戴くよう、クラブ員(32名)が一丸となって活動を行っております。

和泉市の観光についての現地ガイド・講座・寸劇をご提供しておりますので、「和泉市いずみの国観光おもてなし処」を通じて、是非とも私どもにご用命ください。お待ちしております。



【MEMO】第一面の記事にある『KIX泉州ツーリズムビューロー』のKIXとは関西国際空港の[空港コード]で、キックスと読みます。ツーリズムtourismは、ツアーtour(周遊、観光旅行)にismがついて(観光業、旅行業、観光旅行)。ビューローbureauは①書き物机②タンス③事務局。日本語にすれば『関空と泉州の観光旅行事務局』ですね！！